



てんかん発作を抑えるために
積極的な治療参加を促すために
発作日誌シート をご活用ください

監修

埼玉医科大学 名誉学長 山内俊雄 (日本てんかん学会 てんかん専門医)
小出内科神経科 院長 小出泰道 (日本てんかん学会 てんかん専門医)

てんかん患者さんが、「発作が起きた時間」「服薬状況」「発作誘因」などを日々記録することは、発作をコントロールするために大切なことです。

てんかん治療は長期にわたります。これから治療をはじめる患者さんにも、すでに治療を受けている患者さんにも、「発作日誌シート」をお渡してください。

 発作日誌シートを活用するメリット

発作の起きやすい
時間や状況などが
わかるようになる

お薬ののみ忘れを
防げるようになる

発作が何をきっかけに
起きやすいのかが
見えてくる

**診察時に患者さんから、より正確で
詳しい情報が得られるようになる**



発作をコントロールするために大切な、発作日誌シート

発作の種類や症状と発作が起きた時間 記入例のaを参考に、bcdに発作の種類や症状を記入し、右表には該当する記号を書いてください。 記入例 a: 焦点意識減損発作、ボートする b: c: d:		🕒 時間 午前0:00 2:00 4:00 6:00 8:00 10:00 12:00 午後2:00 4:00 6:00 8:00 10:00 12:00		31日にち曜日		記入例																														
				月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31																																
服薬状況 ○: 全部のんだ △: 一部のんだ ×: のみ忘れた		朝 昼 夜 眠前/頓服 睡眠不足 ストレス 過度な飲酒 その他(具体的に)		記入例																																
発作誘因 ✓を入れてください。		生理 ✓を入れてください。		記入例																																
その他気になること(体調や出来事など)				記入例																																



Inspired by **patients.**
Driven by **science.**



ユーシービージャパン株式会社



Inspired by **patients.**
Driven by **science.**



ユーシービージャパン株式会社